

竜丘時報

昭和六年八月九日印刷
昭和六年八月十日發行
（隔月十日發行）
長野縣下伊那郡竜丘村
三三番地
編輯人 中 田 史 郎
發行所 竜丘青年會
長野縣飯田町 原清司
印刷所 飯田町 木下活版所

産業組合と猫

組合製糸 原田 島村
研究主幹

産業組合の使命は何であるかの詮索は今更だ大層な、それ程産業組合の生い立ちと使命と目標とは明瞭にされて居る。然も理論倒れで實際は甚だ速いものだと思へるではないか。無力な無産階級が相寄つて強大な資本主義に打ち勝ち社会改良の實を擧げやうと云ふのである。それは恰も強い猫を退治やうとする鼠の軍勢のやうなものである。五十四匹の犠牲者が出るのを覚悟して一度に襲撃したる鼠が、猫も弊されるに違ひない。猫の勢におお氣づいて足踏の亂れた鼠の軍勢であつたら何百匹掛つても一部の鼠が噛み殺されるだけで遂に猫を逸動は外はない。今の組合運動は猫の頭へ鈴をつける相談のやうに徒らに八益敷く悲壯な決意と團結によつて猫を襲撃しやうと云ふ様な熱がない。

組合員の組合利用、支持に於いて、組合間の區域整理、併合、共同出荷等々總ての問題に於いて、他の多くの仲間には戦はせ、自分は陰で見て居やうとするのである。産業組合も要するに利益の問題で利益のない處には人が集まらなると云ふが、それは間違ひである。精神力が先行すべきものである。（組合製糸研究百二十九號より）

體・自慢の徴兵検査

甲種合格率二、四割強

昭和六年徴兵検査は七月二十五日午前八時より飯田町聯合事務所内松本徴兵署に於いて、徴兵官松本聯隊區司令官陸軍歩兵大佐金子豊治、長野縣社寺兵事課長親泊朝輝氏の下に執行せられ成績以下の如し。

受檢總數	五十八名
本年適齡者	四十九名
年齢超過者	三名
令第七條志願者	六名
甲種合格者氏名（令第七條志願者共）	十三名
原 太 一 塩澤 延男	
久保田 幸人 下平 正登	
林 武 男 牧島 末吉	
下平 彦志 笹岡 榮市	
中平 久良男 大見常次郎	

農民は何處へ行く

働けば働く程、損、損

春繭欠損一貫目

飯田蠶業取締支所の調査による本年春繭生繭一貫目（三、七五キログラム）の生産費は管内河野、泰草、千代、竜丘松尾、山本の六ヶ村に於いて養蠶家七人につき調査したる結果、三圓六一銭となり時價黄繭の平均二圓七八銭より八十三銭白繭の平均二圓九十七銭より六十四銭の欠損を見ることとなつた。同生産費には自家勞賃男一日七十三銭女一日六十二銭を含んでゐるので養蠶家が普通の賃銀を收得するとすれば養蠶經營は大

今第七條志願者
嶋山良雄 中島好
第一乙種 五名
第二乙種 十九名
丙種 十七名
丁種 四名

本年度陸軍簡閱點呼濟む

昭和六年陸軍簡閱點呼は去る七月二十七日午前八時より川路尋常高等小學校に於て執行官、松本聯隊區司令部員、陸軍歩兵少佐福見幸孝の下に三穂、川路、竜丘の三ヶ村同時に受けたり。

竜丘參會人員	五十一名
所在不明	一名
病氣不參	二名
であつた。	

費の年の七割内を養蠶所得とす
（八、二南信新聞より）

家經營で

自農六百七十八圓の穴は

小作農百十四圓の赤字

縣下農家の經營状態は左の如く自作農は昭和三年度には欠損四百四十五圓であつたものが四年度には幸うじて欠損三百二十二圓に漕ぎつけたるも五年度には遂に六百七十八圓といふ大穴をあけるに至り小作農も又三年度には差引収入増二十圓であつたものが四年度には欠損七十八圓となり五年度には百十四圓の支出増を來してゐる事が判明

農丘林産園藝研究会

大白木耳發見

七月十五日會員が研究会場梶山巡視中會場下駒澤川端のドリマキに附着し居るを發見し村農會木下氏に白木耳なるを證明さる。

尙同研究会に於ては松茸、シメジ其他茸類の栽培及菌採種をなし實費を以て分譲するとの由

第一年度は山林會千田技手等の菌採種及時付け等の實地講習指導を得相當の成績を上げ第二年度事業擴張計畫として白木耳及シイタケ栽培をはじめると今回の白木耳發見により同菌子を利用して大栽培を行ふと所員の意氣は素晴らしきものであると。

農業總収入	一、〇〇〇	一、〇〇〇
農業外収入	一〇〇	一〇〇
計	一一〇〇	一一〇〇
農業總支出	一、一〇〇	一、一〇〇
農業外支出	一〇〇	一〇〇
計	一二〇〇	一二〇〇
差引	一〇〇	一〇〇
年度末負債	五〇〇	五〇〇
△小作農		
農業總収入	一、〇〇〇	一、〇〇〇
農業外収入	一〇〇	一〇〇
計	一一〇〇	一一〇〇
農業總支出	一、一〇〇	一、一〇〇
農業外支出	一〇〇	一〇〇
計	一二〇〇	一二〇〇
差引	一〇〇	一〇〇
年度末負債	五〇〇	五〇〇

忘るな九月一日

酒なし日

（第九回大震災記念日）

●酒なし日の趣意●

一、酒なし日の趣意

九月一日の大震災記念日に當り此の日を永く忘るゝ事なく

の好機會たらしむる事は國民の精神作興上極めて意義あることとあります。而して一日約四百萬圓とかの巨費の消費しつゝある酒類飲用を慎むてふことが九月一日を迎ふるに最適切の方法であることは既に六回行はれし年々の酒なし日の經驗によるも明かであります。加ふるに近年の如き不況

農家の緊急策

昨今の天候と稻熱病防除の注意

（農林省發表大要）

本年六月下旬から七月月上旬にかけて田植をした地方で降雨水びき氣温低下せる場合は施した紫雲英、青刈大豆大豆粕其他の有機質の肥料は未だ充分腐熟せすために今後天候恢復し速かに氣温上昇する時は一時に醗酵して水田沸き所謂『ズリコミ』の状態となり稻は生育を害せられ稻熱病を誘發する虞があります。去る大正十二年稻熱病の大發生は斯かる天候によるもので、本年の氣候状態は大いに警戒を要します。今日未だ稻熱病の發生を聞かないのは氣温が低いため稻熱病菌の繁殖が抑制せられてゐるからであります。仍て今後に於ける稻熱病の防除法には次のような諸點に注意するのが肝要でありませう

- 一、特に粘土質の水田にして有機質肥料を生草のまゝ多量に施せしところは天候恢復するも當分排水する事なく地温の急激なる上昇を防止し醗酵による害を避くるよう努むること、又かゝる水田にありては此際消石灰灰反當二十貫位又は過燐酸石灰を五貫位の割合に施し有機

春繭生産組合

供繭額

本年春繭供繭額は左の如し（貫以下切捨）

白繭	一〇、二九八
黄繭	三、二四八
計	四、二七七

假渡は 二圓五十銭
白 二圓三十銭
黄 二圓三十銭

七月十五日から自費共一貫目に對し二十銭の増假渡を行つた。解舒良好で糸量も昨年より多く有つた。

全國一齊

酒なし日

（第九回大震災記念日）

●酒なし日の趣意●

一、酒なし日の趣意

九月一日の大震災記念日に當り此の日を永く忘るゝ事なく

若人の活動



本會事業計劃

一〇月 運動會 對抗競技會
全村慰安デー 時報發行
圖書購入

十一月 音樂會 體育デー參
加 讀書週會 愛讀者座談會

十二月 年末總會 講演會
時報發行 圖書整理 圖書
館報發行

縣青競技大會

七月十九日松尾校に縣青競
技大會出場下伊豫選を舉行し
竜丘からは熊谷四郎 下平傑
の兩名出場して千五百米に熊
谷四郎君二等 十哩マラソン
に下平君二等奮闘して上記の
如く良成績を納ため。

各支會

△事業報告、及事業計劃
時又青年會事業報告

六月 月 例會

廿五日 月見草手入

七月 月 例會

十五日 月見草電燈取付
十五日、廿一日、卅一
日盆踊練習會、廿日例會

△時又青年會事業計劃
十月 體育練習會 村社祭
典 例會

十一月 明治節祝賀會 見學
遠足 辯論會並に例會

十二月 軍人送迎會 年末總
會並に例會

△桐林青年會事業報告
七月十四日津島神社祭典準

備をなし、十五日跡片付
七月十四日 圖書貸出

△事業計劃
十月 體育練習會 村社祭
典準備 麥塩水選

十一月 發表會 時事問題研
究會 體育デー參加 野球
練習會 神嘗祭々典準備

十二月 年末總會 菓細工講
習會

時又處女會

四月十六日 敬老會手傳 二
十一日より一週同生花講習
二十九日新入者歓迎會

五月十日 青年會家庭驅除の
手傳

十五日 例會 掃除

六月十五日 掃除

七月一日 例會 十五、六日
を踊り練習 掃除

△事業計劃
八月 盆おどり 掃除

九月 例會 掃除

十月 珠算練習會 掃除

十一月 洗張り練習會 掃除

十二月 忘年會

軍隊便り

△海兵團へ入團中の山田、下
平の二兄は海兵團新兵の教程
を無事卒業し、五月十五日左
記の軍艦に配乗せらる

大日本帝國軍艦艇手
第三分隊 下平 富夫
全日進

△北朝鮮鐘成守備隊に勤務中の
第十一分隊 山田 實

中島兄は六月二十五日左記守
備隊に編入さる
朝鮮咸鏡北道穩成郡穩成守備
隊 中島 保
△五月二十八、三十日に入營
及入團の爲出發せし諸兄は八
月一日無事入隊す
近衛歩兵第一聯隊第九中隊第
一班 木 下 操
横須賀海兵團第二五分隊第七
教班 下平 武一
全 第拾一分隊第一教班
小林 和三
△小林讓、熊谷順一兩兄は青

訓卒業者として一年六ヶ月で
除隊を命ぜられ良好なる成績
を残して七月十一日歸郷せり
青訓開所記念
青年訓練所では七月一日の
青訓開所記念デーを意義あら
しむるべく、午前九時より小
學校庭に於て村有力者參會の
下に記念式を舉行し終つてか
ら、中原謹司氏の『滿蒙問題
に就て』の公開講演會を開催
せり。

丘の學校園

家庭

一、父兄の方々も教
育者の一人です
ら、どうぞ良い模
範をお示し下さい
學校にばかり任せ
きりの教育は一世に昔の
夢となりました、父兄の方
々も共に、兒童を培つて
立派な實を結ばせたいもの
です。

二、兒童にやさしい笑顔を見
せる保護者であつてほしく
あります。そして僕は厳格
にして下さい。伸び、し
た明るい人物を作るために
は、何時も、にがに顔で兒
童を見ずに、慈愛の眼をな
けてやつて下さい。ひがん
だ兒童それは保護者の愛の
榮養の不良だと御承知下さ
い。

三、一服する時間にも、兒童
の學習を見てやる教育す
の父になつて下さい。
一言の激勵賞讃、それがど
れだけに彼等兒童の小さい
魂を勢づける事でありませ

四、教育に關する雑誌や書籍
にも時には見ていたゞきた
いものです。今の教育との
へだたりの如何に大きい事
かよく分りませう。

五、兒童の事については遠慮
なく、學校へ相談したり、
尋ねたり、注文せる父兄に
なつて下さい。

六、往々にして、不平をなら
べたり、非難するのは昔の
事です、膝つき合せての相談
そしてお互に學校と家庭と
が理解し合つて歩調を揃へ
て共に可愛い兒童を教育し
て行きませう。

それに就いて、思ひ出しまし
たのは『グライッキー』の母の
ことであります。『ローマ』の
大政治家『シビオ』に一人の
愛嬢がありました。此の愛嬢
が嫁して間もなく一人の男兒
をもうけました。此の時彼の
女はつくづく考へました。今
より後は私は『シビオ』の娘
として知られたくない『グ

ラッキー』の母として知られ
たいと、之れが彼女の信念で
ありました。次で又一人の男
の子が生れて、彼の女がこの
二人の子供の教養のために全
力を致したことは勿論であり
ました。
ある時彼の女は一人の友人を
訪問した、するとその友人は
年頃苦心して集めた、数多く
の寶玉を持ち出して来て、彼
ら、あなたは、私のものばか
り見てあなたのを見せないな
んてそれはあんまり、ひどい
わ、
こゝろ言つてきかなかつた、こ
ゝろに於てか、彼の女はやむを
得ず、然らばと言つて坐を立
ち、一間に退いたが、暫くし
て伴ひ来たのがまるく、と太
つて玉にも勝る愛くるしい吾
兒グラッキー兄弟であつた。

水泳に關する注意

水泳の季節になりました、家庭に於かれても左記
につき充分注意監督を御願ひします。

- 一、泳ぐ場所を知らせ行き決して一人で行くこと。
二、大きな波の友達と一緒に往くこと。
三、水に入る前には準備運動を忘れてはならぬ。
四、急に飛び込んだり高い所より飛び込まぬこ
と。
五、水泳の場所について
イ、時又(天龍川)の上流と下流に赤い旗が立てられ
てあります、その間は水體安全です
ロ、兩發電所のタンク及新川の時又用水の取り入れ
口等はいけな
昭和六年八月十日
竜丘小學校

父兄殿

女に向つて誇りやかに見せて
くれました。後にその友人が
今度彼の女を訪ねてきました、
た、そして彼女に言ふには、
日頃心がけたあなたの寶玉を
見せて下さいとせがみまし
た。彼の女は自分は寶玉を集
めることは少しもなかつた
からと言つて詫びるが友はな
か、承知しない、ひどい人

本年は傳染病者なし
出さぬ様に用心を

梅雨後引續きの永雨にて實に
陰氣分にて凡て生物の死活
問題として憂慮したりして天
候漸く回復して氣温日々騰
進しつゝある今日御互に衛生
のことにつき一段と注意を要
するの時濕氣注入の身體にし
て防疫と保健に隣保努力して
未然に發生を防止せられたく
常に各自發熱等の病氣と知り
たるときは直ちに醫師の診察
を得て治療し健康體にありて
は常に暴飲暴食を慎み不熱の
果物等を食せざる様留意せら
れたく幸にして本村としては
傳染病者一人もなく御同慶

原稿募集

次號(九月二十五日)
詩
論
作物栽培の實際秘訣
異端的體験記...等あらゆる
方面の原稿を募集
但十二字詰原稿用紙記入
を乞ふ

男女青年主催の
『時又盆おどり』
例年の如く時又男女青年主
催の名物盆踊りを八月十四、
五、六の三日間毎夜長石寺境
内で行ふ爲目下練習を行つて
居る。

第七回 夏期キヤ
ンブ講習
第七回夏期キヤンブ講習會を
八月一、二、三の三日間清内
路小學校植林内に於て高等科
二學年男子に行なへり

夏蠶情況

本村夏蠶早掃七月二十二日
運掃七月二十一日頃、最
盛十七、八日、成績良好
一般的に、桑葉二割減、
桑價高唱へ昨年比して
蠶量一割八分減、品種は
指定品種、日一〇〇支
一〇五大部(八月七日
時報部調査)

第七回

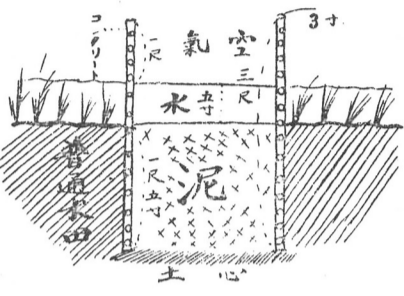
第七回夏期キヤンブ講習會を
八月一、二、三の三日間清内
路小學校植林内に於て高等科
二學年男子に行なへり

竜丘村農會便り

一、村農會幹事變遷。前幹事中山藤氏本年四月末日ヲ以テ退職セラレ後任幹事トシテ岡村哲氏就職ス。
二、桑畑家出除。前年度ニ引續キ竜丘小學校へ補殺方ヲ依頼シタル所先生方ノ御督勵ニ依リ春蠶休中ニ總數二十五萬八千匹ノ驅除ガ出來マシタ。
三、種豚ノ購入。優良品種ノ普及ヲ計ル目的ヲ以テ六月立川養豚場産ノ種豚ヲ購入シ養豚組合長大平氏ノ基ニ飼育中デアリマス。
四、技術員出張。六月廿日ヨリ全國購買組合聯合會橫濱肥料工場へ調合肥料原料調査ノ爲メ出張全時ニ千葉國立畜産試驗場大宮國立種鶏場立川養豚場へ出張畜産事業ニツキ依頼ス。
五、養蜂組合研究會。七月八日養蜂組合ノ研究會ヲ開キ郡農會ヨリ小松技手ノ出張ヲ乞ヒ實地指導ヲ受ク。
六、養鶏飼料共同購入。本村ノ養鶏事業モ漸ク發展ヲ見毎月飼料ノ購入ヲ全村一致シテ實行ヲシ得ル様ニナリマス。
七、青物市場開設。本年七月ヨリ時又ニ於テ青物市場ヲ開イテ居マス。
八、夏蠶ノ狀況。本年夏蠶掃立量ハ前年ニ比シ一割一分位ノ減テ掃立ハ七月十六、七日ガ最モ多ク目下ノ處全村的ニ成績良好デアリマス。
九、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十一、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十二、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十三、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十四、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十五、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十六、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十七、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十八、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十九、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
二十、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。

鱒の飼育法に就て

ノ御力ト相俟ツテヨリ以上ノ發達ヲサセタイト思ツテ居マス。
八、夏蠶ノ狀況。本年夏蠶掃立量ハ前年ニ比シ一割一分位ノ減テ掃立ハ七月十六、七日ガ最モ多ク目下ノ處全村的ニ成績良好デアリマス。
九、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十一、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十二、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十三、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十四、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十五、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十六、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十七、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
十八、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。
十九、種豚ノ購入。七月初旬村内種豚ノ希望者ノ依頼ニヨリ越後ヨリ種豚二十八頭ヲ購入配布シマシタ。
二十、政府米幹旋。本村ヨリノ申込非常ニ多ク三車ヲ注文シテ着荷ハ本月十七日頃ノ豫定價格ハ期米ニ比例シマス。



飼養法。完全なる池が出来ませれば之れに種鱒を放たなければなりません。之に放つ量は一定し

あります。第一見として水便のよい處で而も泥の多い成可く天然にも鱒の棲んで居るよ

野菜 掲示板

彼は野菜作りが好きである。何でも育てる心は楽しみである。失敗も得意だが多少は確信のある事もないではない。

煮食用として十月より翌春二月まで食べられ、その味のよ

一、播種期 八月十日頃 二、整地 殊に丁寧に耕し

小量宛下肥へ投入して。草木灰 第三回開引土寄の際より二、三回。

品評會 出品物規定

- 今秋開催の品評會出品物規定左記の如し
一、穀類 米、大小麥、ソバ、アワ、大豆
二、蠶絲類 繭
三、蔬菜類 馬鈴薯、甘藷、芋
四、果實類 生柿、梨、栗、胡桃
五、菓細工品類 ナ、ワ、ソーリ、ムシロ類、上簇器、其他品
六、参考品類 適宜
七、物産即賣會を併設



學ばいらん

私の人間觀

中平志げる

吾々人間と云ふことについて未だ十分學問的對象されて居ない... 人間相互の關係をより孤獨に導いて行く様である...

反響欄

時報編輯に對する感想希望... 二字語六十行以内紙上四名自由

竜丘時報が時報の形態で村の新聞として整つて来た事は喜ばしい... 發行が繼續出来るか如何と、其生長を疑つて居たが、編輯者の努力の故に兎に角全村の各戸へ時報としての役割をたしつたのである...

ける迄は此の夢を見ずには居られないのである... 此の謎が解かるものとするならばまだ解明されていない宇宙の謎が全き解かれる時此の謎も解ける...

農村落穂集

堀江三五郎

昭和五年秋のノートから... 青年の中にはまだ「夜遊び」と「覗き見」をやつてゐるものが多い...

昭利農村青年... 青年の中にはまだ「夜遊び」と「覗き見」をやつてゐるものが多い...

村の駄菓子屋に集まつた青年連は、十燭光の下で將棋を打つてゐた... 駄菓子屋の遊びが一段落になると、「覗き見」隊が速かに組織されて繰出す...

社會問題や資本主義に關するものを讀んで見やうかな... 止がそんな方へ良い影響を與へるなどは當局でも一寸御存知あるまいと思つた程だ...

青年は何を讀むか。處女會合同の圖書館なるもの、内容をきく。講談、大衆小説が一番はよくきかされてゐる... 農家はどんな状態に置かれるものかなど、そんなことが一向わかる筈はない...

農休野球大會... 常時又實業優勝農休野球大會の優勝旗は四日後小学校校庭に舉行新進時又青年も常勝軍時又實業チームに一點の差に敗る...

手前味噌の記

二十一年報の印刷も止んで念に頭の上で熱し切つた太陽が輝き出した...